

函館線 八雲駅構内における列車脱線事故について

平成24年 3月 1日
北海道旅客鉄道株式会社

1. 発生日時 平成24年 2月29日(水) 22時00分頃 天候 晴れ
2. 発生場所 函館線 八雲駅構内 (二海郡八雲町本町125)
3. 列車番号 長万部駅発 森駅行 普気第890D列車 1両
4. 概況

本列車は、八雲駅4番線を2分遅発後、速度約38km/hで4番線から上り本線に向けて分岐器を通過中に当該列車の運転士は異音が聞こえ、横揺れを感じたため、非常ブレーキを扱い停止しました。停止後に当該列車の運転士が確認したところ、10口号分岐器付近で第1軸及び第2軸が進行右側に脱線していることが判明しました。

5. 原因 調査中

6. 付記

- (1) 本列車は、キハ40系ディーゼル気動車1両によるワンマン運転で、乗客は2名でした。なお、お客様2名については22時51分に降車していただき、タクシーにて目的地(落部駅)まで代行輸送を行いました。
- (2) 当駅4番線から上り本線に出発する列車は、一日1本(本列車のみ)であり、前日は列車遅れのため1番線より発車していました。このため、同ルートを使用したのは2月27日以来でした。
- (3) 脱線状況は進行右側に第1軸が約2150mm、第2軸が約720mm脱線していました。
- (4) 当該箇所の積雪状況は、26日から27日にかけて25cmの降雪がありましたが、それ以降は降雪はなく、29日の天候は朝から晴れ、事故発生時の気温は-3度でした。

7. その他

- (1) 当該列車は3月1日の10時26分に載線を終了しました。
- (2) 当該事故現場は3月1日の12時58分に運転再開しました。
- (3) 国土交通省運輸安全委員会の事故調査については3月1日から実施しております。